

つながりの中でくらす
望まれた人として生きる
自分らしく生きていく



No. 83

2025年1月発行

昨年はお世話になりありがとうございました。
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



昨年12月15日(日)に当法人の20周年記念イベントを開催しました。子育て支援や子どもの居場所に関心のある方々をご参加くださり、熱心に意見を出し合ってくださいました。皆さんと一緒に考え、皆さんと一緒に明日への活動につなげることができればと思います。

このイベントの2日前に、放デイのスタッフたちと「子どもと人権」の研修をしました。講師の言葉にハッとさせられ、改めて活動を振り返り、「忘れかけていたこと」を思い出しました。そして、20周年記念イベントの開会あいさつで、私は次のようなことを話しました。

『私事ですが、31年前に重度の障害をもつ娘の母になりました。娘と娘の周りの友だちから、子どもがともに学びあいともに育ちあうということを教えられました。20年前に、10人の仲間たちと地域生活サポートネットほうぷを立ち上げ、誰もが地域のつながりの中で暮らし、自分らしく生きていくことを願って活動をしてきました。』

10年前に、放課後等デイサービス「楽童ほうぷ」を始め、その後、障害児相談支援の「相談支援ほうぷ」を始めました。本当に大変な10年でした。子どもが、地域社会の中で育っていくことができるように、学校やほうぷを卒業してからも地域で暮らしていけるようにと思いながらやってきたつもりでしたが、制度や行政の指導への対応に追われて、「私たちが」子どもを何とかしようという気持ちになってきていたのではないかと思います。「子どもが」学びあい育ちあうという、子どもが主語となる取り組みが言葉だけのものになりかけていたのではないかと思います。20周年を迎え、初心に帰ろうと思います。当事者が主体の、ともに学びあい、ともに育ちあい、ともに暮らす地域社会を目指すことを改めて心に刻もうと思います。』

大変なこと続きの近年ですが、今年は初心にもどり、私たちが「大切にしたいこと」をしっかりと考えて活動していきたいと思っています。

(地域生活サポートネットほうぷ 向井裕子)



法人設立 20 周年記念

「居場所」ってなに？ ～子どもと居場所～

日 時：2024 年 12 月 15 日（日）10：00～12：15

会 場：旭区民センター 大ホール

後 援：大阪市旭区役所、大阪市旭区社会福祉協議会

参加者：23 名、スタッフ9名（うち学生ボランティア 1 名）

<プログラム>

第一部 実践報告 講師：水流添真氏（一般社団法人こもれび／社会福祉士、公認心理師、主任相談支援専門員、主任介護支援専門員）

第二部 グループディスカッション（5グループに分かれて意見を交わし、発表）

ファシリテーター：新崎国広（大阪教育大学・地域生活学 1 学舎 1 号室）

第一部の水流添氏による講演は、現在の活動の原点となるご自身の体験を語っていただき、活動のきっかけとなった西区での虐待死事件について触れ、実践の紹介をしていただきました。開会挨拶の中の活動の原点となる思いとつながった内容でした。

第二部のグループディスカッションは、孤立をさせないまちづくりや、居場所づくりは地域福祉の一方法であることなど、新崎氏の想いを語ることから始まりました。そして、各グループで自己紹介をして、それぞれの意見を出し合い、付箋に書いて模造紙に貼りつけ、グループングをしました。最後に、各グループの発表をしました。

様々な立場の方々や専門機関の方々が参加してくださいました。皆さんが活発に意見交換をしてくださり、あっという間に模造紙ができあがっていきました。各グループの発表も素敵な内容でした。

私たちそれぞれが、何を考え、これからどう動いていくかを考えさせられた時間となりました。アンケートにもたくさんの感想を寄せていただき、とても充実した時間となりました。講師とスタッフの振り返りにおいても、本当に良い会になったという感想が多く出ました。

<参加者の感想から>

- ・ 他職の方と違う視点でグループディスカッションできたのが、楽しくて、確認できた場でした。
- ・ 今日には素敵な講演会に参加させていただきありがとうございました。水流添さんのお話はとても心に残るものでした。色々勉強になり、まだまだ頑張っていきたいと思いました。グループワークではなかなか出会えない方々にお会いできて、お話しできたこと、とても嬉しかったです。
- ・ 色々な方がいるグループでそれぞれの意見が聞けてとても勉強になりました。
- ・ 若い方と交流（話し合い）ができ、頭が活性化しました。
- ・ 前向きな方がたくさんいらっしゃって、エネルギーをもらいました。水流添先生のお話には目からうろこ、活動の原点を聴けて良かったです。
- ・ 時間をきっちり決め、学んでいく研修で良かった。

- ・ グループセッションでは、普段自分が考えても忙しさの中で頭の中に散らかっていたものが、皆の意見を出し合って整理できたのが良かった
- ・ 講話も興味深かった。またグループワークでは前向きな様々な意見をうかがうことができ、有意義な時間を過ごすことができた。
- ・ 様々なかかわりを持つ方と交流できて、また自分たちの活動を考えるきっかけになりました。「居場所ってなに？」は自分のところでもスタッフと改めて考えてみたいと思います。
- ・ 学校では学ばない話を聞いて考えが広がりました。
- ・ グループワークでは普段話をする事のない人と思いをし合い、自分と同じ思いだったり、新たに感じる事だったり、気づきを得られた。一人の子どもがその子らしく笑顔が出る機会が1回でも増えるようやっていきたいと思いました。
- ・ グループの皆さんと意見交換ができたのがとても良かったです。
- ・ グループワーク、楽しかったです。とても充実した時間でした。
- ・ 設立20周年おめでとうございます。10年目は「先を見つめる」、20年目は、設立当初の理念をもう一度確認する節目。すべては始まりに凝縮していると思います。水流添さんの講演もそこを忘れないことを改めて意識させ振り返る機会として位置付けてくださっていたと思います。2部のGWも意義ある場になりました。
- ・ 実際に地域で活動している方の貴重な思いを聴けてとても良かったです。今後の仕事に活かしていきたいと思いました。



放課後等デイサービス「楽童ほうば」報告

11月の創作活動では、ほうばで採れた綿花を使ってクリスマスツリーやリースを作りました。12月の創作活動は、スノードームを作りました。平日にも、お菓子作りや、簡単工作をよくしています。ストロー飛行機を作って遊んだり、牛乳パックコマを作って遊んだりしました。12月7日のグループワークは、「気持ちを考える」ことをしました。子どもたちは積極的にたくさんの意見を出してくれました。

毎週土曜日には大阪経済大学のボランティア部の学生さんたちがやってきて、子どもたちと一緒に遊んでくれています。平日はパートの職員が増え、身体を動かして遊ぶことが多くなり活動の幅も広がっています。



秋から冬にかけて、日々の活動をより工夫を重ね丁寧にやってきました。それぞれの子ども状況に合わせて、子ども自身が今日やりたいことを考えたり予定を立てたりしています。予定を立てることが難しい子どもは、誰と何をしたいかを伝えてもらうようにしたり、順番を待ってすることを伝えたりしてわかりやすい環境をつくってきました。スタッフミーティングも毎週行い、ヒヤリハットを確認したり、保護者との面談の内容を共有したり、支援計画について、ケースについての話をしたりしています。12月13日に、松森俊尚氏を招き、スタッフ研修「子どもと人権」をしました。少人数で充実した研修会となり多くの気づきや学びがありました。今後の取り組みに活かしたいと思います。

創作活動



11月30日(土) 14:30~15:30 参加者: 子ども6名 ボランティア2名

12月14日(土) 14:30~15:30 参加者: 子ども6名 ボランティア2名

11月の創作活動は、「こっとんくらぶ」の皆さんを講師にお招きして、クリスマスリースやクリスマスツリーを製作しました。こっとんくらぶさんが用意してくださったまつぼっくりや様々な木の实やガクやツタなどの自然物と、ほうばで育てた綿を使って、素敵な作品ができました。

12月は、スノードームを作りました。瓶に水溶液やラメなどの飾りを入れて作りましたが、蓋に飾りをくっつけるのにグルーガンを使用します。グルーガンはなるべく大人がしましたが、やけどの危険があるものを使うことも覚えていってほしいと思っています。

平日活動では、お菓子作りの他にも、紙コップや牛乳パックなどを使って、ロケット、プロペラやコマなど、いろんな物を作って遊びました。



クリスマス会

12月21日(土) 13:30~16:00

参加者：子ども17名(うち利用12名) 保護者：7人 ボランティア2名

12月といえばクリスマス会。午前中はステージ発表のリハーサルをしたり役割を確認したりしました。会場準備もみんなで行いました。そして、いよいよ本番。まずはステージ発表。子どもの司会で、ダンスやクイズ大会をしました。続いて、小学生から中学生に司会を交代して、ビンゴ大会をしました。景品をもらった子どもの嬉しそうな顔！景品を持って「写真撮って」とカメラのところにやってきます。最後は、みんなでケーキのデコレーション。保護者の方々にもご参加いただき、賑やかなクリスマス会となりました。



大掃除

12月21日(土) 14:00~14:30 参加者：子ども10名 ボランティア4名

年末恒例の大掃除をしました。エリアに分かれて、掃いたり拭いたり洗ったり、みんなよくがんばりました。おやつは町内のお店の大判焼。あったかくておいしかったです。



おやこひろば ほうぷ

6月9日 1組(3人)

(いずれも、スタッフ3名 ボランティア2名)

9月1日 台風接近で延期 ⇒ 10月20日 申し込み5組 参加3組(9人)

12月1日 申し込み4組 参加3組(9人)

今年度は音楽と創作の内容にしました。毎回、ボランティアで、音楽療法士と音楽療法を学ぶ学生さんが来てくれました。ご家族がリラックスして過ごしてもらえるように、自己紹介や発表等は無し、音楽を自由に楽しんでもらうために参加の無理強いも無し、ゆる～い場所です。好きな曲もその場でリクエスト！珍しい楽器も並んで、いろんな楽器に触る貴重な機会でもあります。創作活動は、保護者さんのために準備していて、お子さんから離れて、目の前の創作に集中してもらおう時間です。意外とお父さん方が熱心に創作に取り組んでおられました。最後に読み聞かせをして解散です。

広報が難しく、旭区子育て応援ラインを使うなどしてきましたが、今回は、子育てサロン やつどいのひろばにチラシを置かせていただきました。毎回、少人数ですが、継続しての申し込みもあり、居心地の良い場になっていることを感じました。また、耳の不自由な親子さんの参加があり、どのように音楽を楽しんでもらうかを考えたり、聞こえないから音楽の場が楽しくないのではと思い込んでいることに気づかされたりする機会にもなりました。

次年度も、ゆったりとゆる～く開催する予定です。今年度の活動は、旭区共同募金「事業委託金」の協力によって開催し、新しい楽器や絵本を購入させていただきました。ありがとうございました。



<参加者の感想から>

- ・ 娘とたくさん遊んでいただき、娘もご満悦。普段触れない楽器に触れて、娘も大興奮。ピアノ演奏してくれたり、絵本を音楽に合わせて読んでくださったり、よかったです。
- ・ ピアノで好きな曲を弾いてもらえて、一緒に「きらきら」と言えました(歌えました)。
- ・ 音楽だから、聞こえないから、大丈夫かな？と不安はあったのですが、皆さん、温かくお話してくれ、「フクロウ」も作れて、子どもが『ここ楽しい！好き！』と言ってくれて、子どもの意見を尊重する大切さを改めて感じました。素敵な居心地のいい時間でした。
- ・ 初めて参加しましたが、いろんな楽器に触れて音楽を楽しめました。家では経験できなかったのがありがとうございました。まつぼっくりのクリスマス飾りもとても可愛かったです。いつもはお店で買って済ませてしまうので、良いなと思いました。
- ・ 色々な楽器があり、触らせてもらい、いい経験になりました。絵本の読み聞かせも工作もあって、充実していて、また参加したいと思いました。

ほうぶ よる カフェ

毎月第3金曜日の夜に開催しています。春に近隣の小中学校にチラシを配布したら、たくさん子どもたちがやってきました。おやつを食べてから塾に向かう子もいました。当法人の年配スタッフとカードゲームをしたくて来る女子、ビーズクッションでひたすら本を読み続ける子、英語を教えてもらったり、学校の課題に取り組んだりしている子どももいます。春にいきなり多くの参加者があったので、その後の広報を控えました。それでも継続して、毎月第3金曜日を楽しみに来る子どもたちがいます。

おやつと飲み物を置いています。日によって、おにぎりを作ったり、そうめんを作ったりしましたが、あっという間になくなりました。子ども食堂ではないので、食事の提供を目的としませんが、今後は、子どもたちと一緒に作って食べることもしていきたいと思っています。

今年度は、大阪市ボランティア活動振興基金の助成金により開催していますので、環境整備に費用をかけることができました。ただ、様々な文化を伝えるための取り組みもしようと考えていましたが、ボランティアの参加がなく、思うような活動に取り組むことができていません。次年度に向けて、どのような進め方をするか、20周年記念イベントで出たご意見なども参考にしながら検討していきたいと思っています。



● 法人内の活動報告 ●

- 12月 1日 (日) おやこひろばほうぶ
- 12月13日 (金) 職員研修「子どもと人権」
- 12月15日 (日) 法人20周年記念イベント
- 12月20日 (金) ほうぶよるカフェ

● 地域活動報告 ●

- 12月 6日 (金) 旭区子育て支援「あさひの輪」定例会 (旭区社会福祉協議会)
- 12月18日 (水) 旭区地域自立支援協議会 相談支援部会 (旭区役所)

2025年元旦、大阪にはきれいな青空が広がりました。辛いことや悲しいことがあった時、ふと見上げた空の青さに励まされてきました。青い空を見上げて深呼吸して、「さあ、歩いていこう」と思います。

今年がみなさんにとって良い年になりますように(む)

